

## 2018 年度春季大会の告示

### I. 大会の案内

#### 1. 期 日

2018 年 5 月 16 日（水）～19 日（土）

午後：シンポジウム

第 4 日（5 月 19 日）

午前：口頭，ポスター，ジュニアセッション

午後：口頭，公開気象講演会

#### 2. 会 場

つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

<http://www.epochal.or.jp/>

#### 5. シンポジウム

大会第 3 日（5 月 18 日）の午後に開催予定です。テーマは「防災・減災のための観測・短時間予測技術の未来」です。

#### 3. 研究発表

口頭及びポスター形式で行われます。研究発表の詳細につきましては下記「IV. 研究発表要領」をご参照下さい。

#### 6. 懇親会

大会第 2 日（5 月 17 日）の夕刻に、大会会場にて開催予定です。

#### 4. 大会日程

大会は以下の日程で行われる予定です。

第 1 日（5 月 16 日）

午前：口頭，ポスター

午後：口頭

第 2 日（5 月 17 日）

午前：口頭，ポスター

午後：総会，受賞記念講演，懇親会

第 3 日（5 月 18 日）

午前：口頭，ポスター

#### 7. 大会ウェブサイト【2018 年 1 月 9 日（火）開設予定】

本大会では、大会ウェブサイトを用いて、2018 年 1 月 9 日（火）より開設する予定です。講演申込み受付や大会プログラムなどの詳細につきましては、こちらをご参照下さい。URL 等につきましては、気象学会ホームページ（<http://www.metsoc.jp/>）をご参照下さい。

### II. 大会参加手続き

#### 1. 講演を行う場合の参加申込方法

「天気」本号掲載の「日本気象学会 大会発表規程」に従って講演の申し込みを行って下さい。

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。 オンラインで大会予稿原稿を送付できない場合や、クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など、止むを得ない事情がある場合は、電子メールによる申込を受け付けます。

なお、大会参加登録・参加費支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注意ください。 また、非会員の講演申込は専門分科会に限定してい

ますのでご注意ください（VI. 非会員、団体会員の大会講演について）。

##### 1.1 オンラインによる申込

- ・締切：2018 年 2 月 6 日（火）15 時（日本時間）
- ・大会ウェブサイト参照し、指示に従って申し込みをして下さい。
- ・大会ウェブサイト上で最初に個人情報と ID・パスワードの登録を行います（前回の ID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが、改めて個人情報と ID・パスワードの登録を

行って下さい)。この ID とパスワードによって登録システムにログインし、大会参加登録・講演申込・大会予稿送付・参加費決済を行います。

- ・個人情報と ID・パスワードの登録は講演者本人が行ってください。申込締切後、プログラム編成を支障なく進めるために、登録された個人情報は講演者本人のものであることが必要です。また、一つの ID で、講演者の異なる 2 件の講演申込を行うことは控えてください。ご協力をお願いします。
- ・登録の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所を記入してください。
- ・講演申込の前に、予め大会参加登録と参加費の払込（クレジットカード決済）を行ってください。大会参加登録と参加費の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- ・オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。
- ・大会予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式は PDF（容量の上限は 1 MB）に限ります。
- ・大会予稿原稿を投稿する際には、ウェブサイト上で著作権委譲に同意する必要があります。
- ・講演に関する要望がある場合は所定の欄に記入して下さい。要望事項は、プログラム編成時に可能な限り考慮するように努めますが、諸事情により要望に沿えない場合があるのでご了承下さい。なお、口頭発表の発表日時の希望は原則として受け付けません。また個別の要望についての回答は致しませんので、併せてご承知おき下さい。
- ・講演申込み締め切り（2月6日（火）15時）までは、ウェブサイト上において、一旦申し込んだ講演申込の登録内容の修正や大会予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。
- ・締め切り後の講演申込や大会予稿原稿の差し替え等は受け付けません。

## 1.2 電子メールによる申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2018年1月30日（火）  
（オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意ください。）
- ・以下の4点を講演企画委員会事務局（下記）まで

電子メールにてお送り下さい。

- ① 大会予稿原稿（PDF形式）
- ② 講演者氏名（漢字、ふりがな、ローマ字）、所属、所属略称、会員番号、発表形式、連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）、講演題目、主・副キーワード、参加種別（講演者 A/講演者 B）、懇親会（参加/不参加）、その他必要事項を書いたもの（様式は自由）
- ③ 郵便振替払込受領証のコピー（次項参照）
- ④ 全ての著者のサインを記載した著作権委譲承諾書（フォーマットは以下に掲載）

[http://www.metsoc.jp/E/msj\\_copyright.pdf](http://www.metsoc.jp/E/msj_copyright.pdf)

送付先：kouenikaku2018s@mri-jma.go.jp

（件名に「講演申込 2018s」と明記して下さい。）

- ・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって参加費を納入して下さい。
  - －口座番号は「00130-3-5958」、加入者名は「日本気象学会」です。
  - －「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
    - ①「2018年度春季大会参加申込」と明記
    - ②会員番号（非会員の場合は「非会員」と明記）
    - ③大会参加種別（講演者 A または講演者 B）
    - ④参加費金額
    - ⑤懇親会費金額
    - ⑥合計金額
  - －「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をきれいに記入して下さい。
  - －払込料金は本人負担をお願いします。

## 1.3 講演のキャンセルについて

- ・講演申込み後は、講演のキャンセルは原則として受け付けられません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・懇親会費は返却しませんのでご注意ください。
- ・講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会（kouenikaku2018s@mri-jma.go.jp）までご相談下さい。ただし、非会員による代理発表は認められません。

## 2. 講演をしない（聴講のみ）場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン（大

会ウェブサイト)による事前登録をご利用下さい。

## 2.1 オンラインによる申込

2018年4月3日(火)までに大会ウェブサイトに参加登録し、参加費を払い込んで下さい(クレジットカード決済のみ)。期日までに参加費の払い込みが済まされない場合は、参加登録は無効となります。

登録の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所を記入してください。

## 2.2 郵便振替による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・2018年3月27日(火)までに、郵便振替で参加費を払い込んで下さい。

一口座番号は「00130-3-5958」,

加入者名は「日本気象学会」です。

—「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。

- ①「2018年度春季大会参加申込」と明記
- ②会員番号(非会員の場合は「非会員」と明記)
- ③大会参加種別(聴講者Aまたは聴講者B)
- ④参加費金額
- ⑤懇親会費金額
- ⑥合計金額

—「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名(漢字、ふりがな、ローマ字)・電話番号をもれなく記入して下さい。

—払込料金は本人負担でお願いします。

—上記の住所記入の際には、郵送物を受け取ることが出来る住所を記入してください。

## 2.3 大会当日に会場で申込

当日会場で参加登録をして、参加費を現金で支払って下さい(当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください)。

## 3. 参加費、懇親会費

### 3.1 参加費

- ・参加費(食事代等は含まれません、消費税込)は以下の表の通りです。

参加費		
種別	前納	当日
講演者A	8,000円	—

講演者B	5,000円	—
聴講者A	3,000円	4,000円
聴講者B	5,000円	6,000円

- ・講演者の種別:

講演者A: 研究機関・大学に所属する講演者(ただし、学部生・院生は除く)

講演者B: 講演者Aに該当しない講演者

- ・聴講者の種別:

聴講者A: 気象学会会員の聴講者

聴講者B: 気象学会会員以外の聴講者

- ・講演件数が2件の場合も参加費は変わりません(講演件数による加算はありません)。

- ・気象学会会員でない方の講演発表については、「VI. 非会員、団体会員の大会講演について」を参照して下さい。

### 3.2 懇親会費

- ・懇親会費(消費税込)は以下の表の通りです。世代を問わず多くの方々に参加していただき交流を深めたいと思います。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000円	6,000円
学生	2,500円	3,000円

- ・懇親会費はオンラインもしくは郵便振替で参加費と同時に前納することが出来ます。期日までに懇親会費の払い込みが済まされない場合は、前納による参加登録は無効となります。当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください。

### 3.3 その他

- ・一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。

- ・参加費・懇親会費の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません(追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません)。

### Ⅲ. 大会予稿原稿作成要領

#### 1. 原稿サイズ・枚数

1 件あたり A4 判 1 枚とします。

#### 2. 作成方法

ファイル形式は PDF (容量の上限は 1 MB) とします。

#### 3. 印刷

原稿は B5 サイズに縮小されて白黒でダイレクト製版されます。階調のある写真や図は、明瞭度が落ちる場合がありますので作成時にはご注意ください。特に、カラーの写真や図は明瞭度が極端に落ちる場合がありますので、予めご承知おき下さい。

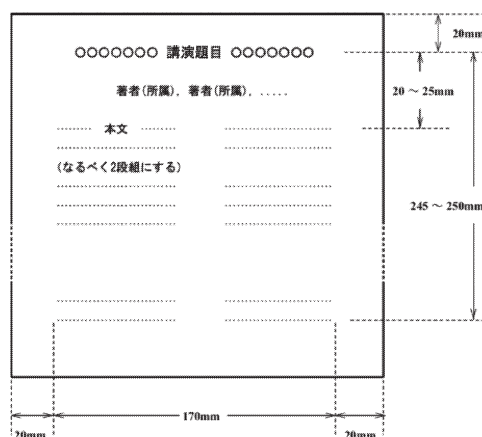
#### 4. 配置 (付図参照)

記載範囲は縦 250mm×横 170mm 以内とし、上部には 20mm の余白をとって下さい。最上段に講演題目、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に \* をつけて下さい。講演題目から本文までの間隔は

20～25mm として下さい。本文は原則として 2 段組 (左半分→右半分) にして下さい。

#### 5. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は (公社) 日本気象学会に帰属します。



図：A4 判用紙による大会予稿原稿の作成要領

### Ⅳ. 研究発表要領

#### 1. 発表の種類

講演方法には、口頭発表 (専門分科会を含む) とポスター発表の 2 種類があります。

#### 2. 発表件数の制限

1 講演者あたりの発表件数は 2 件以内とします。ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの 2 件の発表は認められません。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。また、2 件の口頭発表を申し込まれた場合、希望通りのセッションに組み込むことが出来ない場合があることをご了承ください。

#### 3. 講演方法の選択について

講演方法 (口頭/ポスター) につきましては講演申込時に選択できますが、申込件数や会場の都合等により希望通りにならない場合があることを予めご

了承下さい。なお、講演申込時に講演方法の希望がない場合は、講演企画委員会の裁量で振り分けを行います。

#### 4. 口頭発表の概要

口頭発表の講演時間は全て同一とします。1 件あたりの講演時間は、口頭発表に配分された時間の総計を申込件数で割ったものを目安として講演企画委員会が決定し、大会プログラムに掲載します。

#### 5. 専門分科会の概要

- ・専門分科会の各講演の講演時間は世話人が決定し、大会プログラムに掲載します。
- ・専門分科会への講演申込み締切日は一般講演と同じ (オンライン申込は 2 月 6 日 (火)、電子メール申込は 1 月 30 日 (火)) です。
- ・専門分科会に申し込まれた発表については、世話

人が大会予稿原稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。

- ・専門分科会に申し込まれた発表が、世話人によって専門分科会に適さないと判断された場合には、講演者が気象学会会員の場合は、一般発表に振り替えます。講演者が非会員の場合は、大会予稿は不採択となり、参加費が返却されます（VI. 非会員、団体会員の大会講演について）。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

## 6. ポスター発表の概要

- ・ポスター発表の時間は1時間程度とします。ポスター発表の時間には他の行事は行われません（ジュニアセッションを除く）。
- ・ポスターの掲示・撤去は、講演者の責任で行って頂きます。
- ・掲示スペースは、縦205.5 cm×横85.5 cmとします。なお、ポスターは大きな紙1枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べて掲示しても構いません。

## 7. 講演における機器の使用について

- ・口頭発表（専門分科会を含む）につきましては、PCプロジェクターが使用できます。それ以外の機器は使用できません。
- ・PCプロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。
  - ーパソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロ

ジェクター、接続ケーブルを準備します。

- ーセッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。
- ー突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようお願いいたします。
- ・ポスター会場での機器の使用を希望する場合は、機器の名称およびその使用方法を、講演申込み時に届け出てください。口頭発表への申し込みをする場合も、プログラム編成上の都合によりポスター発表に振替られた時に、機器を使用する可能性があれば同様に届け出てください。ただし会場の都合により、その要望が受け入れられる保証はありません。

## 8. その他

- ・大会プログラムは「天気」4月号及び大会ウェブサイトに掲載されます。
- ・口頭発表セッションにおける座長は、テーマごとに発表者の中から選ばれることが多くなっています。講演企画委員会が、座長候補者を選び、候補者へはその承諾に関する打診を行いますので、その際にはご協力願います。

## V. 専門分科会のテーマと趣旨

2018年度春季大会では下記の通り、1件の専門分科会が開かれます。

### 1. 「多発する集中豪雨と線状降水帯 ー特に2017年の豪雨事例を中心としてー」

**趣旨：**2017年7月5日～6日に福岡県朝倉市や大分県日田市などの九州北部地方で集中豪雨による甚大な被害が発生し、気象庁は「平成29年7月九州北部豪雨」と命名した。九州北部豪雨発生の前後にも島根県・新潟県・秋田県など各地で豪雨が頻

発した。これらの豪雨発生の主要因の一つとして所謂「線状降水帯」の存在が指摘されているが、その発生環境場と形成機構、降水量の予測可能性、災害評価に資する豪雨の定量的表現法など依然として未解明の課題が山積している。本分科会では、特に2017年梅雨末期の豪雨事例を中心に、観測研究から、データ解析、データ同化、数値シミュレーションに至る様々な手法に基づいた、線状降水帯関連の気象学的研究はもとより減災・防災関連の調査研究の話題提供も期待したい。また、今後

も頻発が予想される豪雨災害の対策に資するための研究の方向性を会員と共に議論する。次代を担う大学院生など若手の発表も大いに歓迎する。

世話人：竹見哲也（京都大学），津口裕茂（気象研究所），清野直子（気象研究所），加藤亮平（防

災科学技術研究所），清水慎吾（防災科学技術研究所），下瀬健一（防災科学技術研究所），川野哲也（九州大学），川村隆一（九州大学）

## VI. 非会員，団体会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら，短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して，講演企画委員会では専門分科会に申し込まれた講演が世話人により採用された場合に限り，非会員の講演を認めることとします。非会員が専門分科会に申し込んだ講演が採用されなかった場合は，大会予稿は不採択となり，参加費が返却されます（講演者が気象学会会員の場合は，専門分科会で不採用になったとき，世話人と講演企画委員

会の判断により一般口頭もしくはポスター発表への振り替えが行われます）。講演企画委員会としては，大会での講演発表を希望される方には，気象学会会員になって頂くよう強く要請します。

団体会員が団体名での講演申込を行った場合，個人会員と同等の扱いとなり，2件以内まで講演を行うことができます。ただし，団体の構成員である個人の講演申込は認めておりませんのでご注意ください。

## VII. 研究会活動への支援について

講演企画委員会では，大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し，一般の会員が自由に参加できることを条件として，可能な支援をします。支援を希望する方は，次の事項を明記の上，講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2018s@mri-jma.go.jp）へ申し込んで下さい。なお，会場によっては利用料負担をお願いする

場合があります。

申込期限：2018年2月6日（火）

- 記入事項：1. 会の名称とテーマ  
2. 代表者の連絡先  
3. 希望日時・開催場所  
4. 予想参加人数  
5. 希望する支援内容

## VIII. 大会期間中の保育支援について

大会期間中の会場近隣の保育施設として，次の施設を紹介します。

### 1. キッズハウスつくば

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1丁目24-8

パルシャスつくば1F101号

Tel：0120-38-8373

<http://www.kids-house.jp/>

つくばセンターバスターミナル4番乗り場より関

東鉄道バス「学園南循環（右回り，左回りどちらでもよい）」に乗りし（乗車時間5分），「二の宮一丁目」下車，バス進行方向へ徒歩約1分です。途中バス停の「国際会議場（学会会場）」からは2つ目のバス停です。学会会場から徒歩の場合は約10分（800m）となります。バスの本数が少ないので，確認して利用されることをお勧めします。

[http://kantetsu.co.jp/bus/timetable\\_tsukuba.html](http://kantetsu.co.jp/bus/timetable_tsukuba.html)

2. AiAi kids (あいあいキッズ)  
〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 4-4-11  
ハニュウ薬局研究学園店 2階  
Tel : 029-869-9705  
<http://aiAi-kids.com/index.html>  
TX 研究学園駅より徒歩 10 分

ただし、左記は情報提供のみであり、保育施設への申し込みは利用者個人で行って下さい。また、補助は保育支援ガイドライン ([http://jinzai.metsoc.jp/files/childcare\\_support\\_guideline.pdf](http://jinzai.metsoc.jp/files/childcare_support_guideline.pdf)) に則りますので、補助申し込み以降の手続きは学会事務局にお問い合わせください。

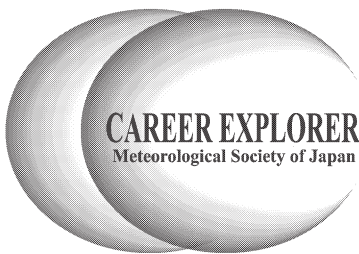
## Ⅷ. キャリアエクスプローラーロゴについて

### 1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴの利用を勧めています。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職に出会うのをサポートします。

### 2. キャリアエクスプローラーロゴ

大会予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。



### 3. 使用方法

ポストドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会

員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、大会予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプローラーロゴを使用できます。

1. 大会予稿：白黒ロゴを、講演題目の左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさと挿入してください。
2. 口頭発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。
3. ポスター発表：講演題目付近の分かりやすい場所に表示してください。

### 4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。
2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。口頭発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。

## X. リクルートブースの設置について

日本気象学会は、大会会場にてリクルートブースを設置する予定です。これは、適職に出会うための機会を民間企業から広くご提供いただくことにより、気象学会に所属する大学院生や有期雇用の若手研究者のキャリア形成をサポートする試みです。企業の

就職担当者の方々にご来場いただき、就職を希望する参加者と直接情報交換する場を提供します。ブース訪問希望者の参加予約等の手続きは不要です。なお、参加企業名は大会プログラムとともに発表の予定です。

## XI. 電子版予稿集のダウンロード配布の試行について

講演企画委員会では電子版予稿集の本格運用を目指し、運用形態の検討を行っています。本大会では、無料試行版という位置づけで、製本版の予稿集の定期購読者に限り、電子版予稿集のダウンロード配布

を行う予定です。なお、製本版の予稿集に電子版（CD-ROM）を同梱する形での配布は行いませんのでご注意ください。

## XII. 松野賞（新設）について

本大会より松野賞（学生発表賞）が始まります。詳細は「天気」本号に別途掲載される「松野賞のお

知らせ」をご覧ください。

---